

令和2年8月12日

お客様、関係先様各位

日本酸化チタン工業会

TMP(トリメチロールプロパン)の再分類について

いつもお世話になりありがとうございます。

標記の件、TMPをREACH登録するためのコンソーシアムである Formacare Polyols Consortiumは、同品を「生殖毒性区分2(生殖毒性の疑い)」、危険有害性情報として H361(生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い)としました。

TMPは表面処理剤として酸化チタン製造に一般的に用いられることが多く、一部の酸化チタン製品中に1%未満含有しています。

日本では生殖毒性区分2の物質を3%以上含有する混合物は生殖毒性区分2の物質となりますが、酸化チタンはその含有量が1%未満であるため、生殖毒性物質には該当しません。(国連GHS文書第6版準拠)

しかし、SDSでは0.1%以上含有する場合、組成情報の記載が求められていますので、該当する製品は必要に応じ会員各社よりSDSを改訂する予定です。

現行ご愛顧頂いている酸化チタンは生殖毒性物質ではありませんが、お取り扱いの際は従業員への暴露対策を充分講じて頂くようお願い致します。

さらにご不明な点等ございましたら、ご購入先又は当工業会事務局までお問い合わせ下さい。引き続き宜しくお願い申し上げます。

以上